



しもの幸助 5つの政策

① 国民生活と国益を守る

根本的な物価高対策や、災害から命を守る防災に取り組み、安全・安心が実感できる豊かな社会へ。

物価高対策・
防災＆安全保障

② こどもたちの未来を切り拓く

子ども・子育て世代が、安心して心置きなく生活できる環境づくりを全面的に支援します。

子育て支援

③ 人に優しいデジタル化の推進と
中小企業・小規模事業者の発展

シニア層が安心できる優しいデジタル化と中小企業・小規模企業への細やかな支援。

中小企業＆
小規模事業者の
支援

④ 安心を実感できる人生100年時代へ

社会保障、地域医療の充実を図り、人生100年時代を、健康で豊かな充実した人生に。

充実した保障と
安心できる人生

⑤ 利便性が高く、産業基盤の強い三重を

三重県の公共インフラの整備、中小・小規模事業者の事業継続・新産業への取り組みを支援。

いつまでも住み
続けたい三重県

ガソリン減税、年収の壁、学校給食の無償化など
さらに、政策を動かす！

「生活者ファースト」の政治を実現する、新しい政党が誕生しました。分断でなく協調を、対立より対話を、紛争より平和を、このようなか道の実現に共感し、私は参加を決定しました。

今現在、前回の衆議院議員選挙によって、国民本位の政治と経済が動き始めました。

① ガソリン・軽油の暫定税率の廃止

② 「年収の壁」の引き上げ

③ 高額療養費の自己負担の引き上げ凍結

④ 現役世代と若者の厚生年金等の引き上げ

⑤ 令和八年度からのいわゆる給食費の無償化

⑥ 中学校三十五人学級の段階的導入

⑦ 能動的サイバー防御法への「通信の秘密」の尊重規定の追加

私・しもの幸助は、国会での政府与党への追及と提案、政党内での政策の積み上げや議論を通じて、これらの政策の実現に貢献してきました。

しかしながら、物価高や実質賃金の低下などで国民生活は苦しい状況が続いており、食料品消費税ゼロ、給付つき税額控除、社会保障料の負担で手取りが減る「130万円のカケ」の解消、これらの政策を動かしていくためにはさらなる皆様の力が必要です。

力強いご支援をよろしくお願い申し上げます。

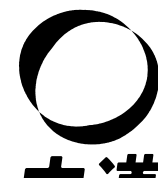


みんなの声を、力に。

しもの幸助
公式LINE



しもの幸助
公式サイト



中道
改革連合

Centrist Reform Alliance

しもの幸助

49歳

しもの幸助
プロフィール

1976年11月 鈴鹿市に生まれる。鈴鹿市立白子小学校、鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校を卒業後、国立鈴鹿高専 電気工学科で学ぶ。1997年4月 国立豊橋技術科学大学 工学部に入學。2001年10月 内閣官房（内閣事務官）の道に進む。2008年3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科を修了（MBA取得）。その後、地元鈴鹿に戻り、アイシン精機（株）経営企画室に入社。2011年4月 三重県議会議員選挙に立候補し、初当選。以後4期連続当選を果たし、その間、四日市港管理組合議会議長を務める。2024年10月 衆議院議員選挙に立憲民主党から初出馬初当選。衆議院安全保障委員会理事を経て、2026年1月 中道改革連合に参加。

PROFILE

■生年月日／1981年11月4日
■家族構成／妻・長男・長女
■趣味／ダンス、キャンプ、バイク

法政大学経済学部を卒業後、株式会社NTTドコモに入社し、11年間勤務後、父・川崎二郎の秘書を務める。

2021年衆議院選挙で初当選。

当選2回目の2024年に総務大臣政務官に就任。

2025年～高市早苗内閣ではデジタル大臣政務官と内閣府大臣政務官を兼任。



日本の今と未来を守る！足元の物価高対策。そして「力強い日本」を次世代へ！

国民の安全・安心を最優先

日本が安全な国であることが大前提。年々増加している外国からのサイバー攻撃や諜報活動により、日本の素晴らしい技術が流出することを徹底的に防止するとともに、エネルギー安全保障・食料安全保障・防災などを強化していかなければなりません。

中部圏活性化で
東京一極集中を打破！

中部地方の安定した地盤、広大な土地、豊富な水資源は日本の宝！道路網（バイパス等）・鉄道網（リニア開通・在来線維持強化）・中部国際拡充・四日市港湾の整備、防災インフラの修理・更新などの各種インフラ整備を早期に行います。また学校と企業の連携を強化し、技術者を輩出することにより、企業進出や定住につながり、東京一極集中が是正できると確信しています。

人口減少時代を生き抜く！ 3つの「D」戦略

D1 Digital デジタル技術の社会実装
少人数での生産力向上にはDXが不可欠！AI・beyond 5G・ブロックチェーンなどの先端技術の社会実装をすすめ、DXに取り組む企業を支援し、労働者の価値を高めます。

D2 Design 時代に合わせた規制をデザイン
年収の壁や残業規制、新たな技術の参入を阻害するアナログなやり方「アナログ規制」を見直し、やりがいとチャレンジ精神をもてる社会にします。

D3 Divercity 多様性と包容性を重視
人口減少の世の中だからこそ、自分らしく働ける、活躍できる多様性を認める社会をつくるべき！DXがもたらす多様な働き方を認め、仕事と生活のバランスを「自分らしく」決められる社会にします。

地元三重の強みを世界へ！

自動車・半導体産業、かぶせ茶や伊賀米、ぶどうや梨、牛・豚などの畜産業…多数の三重自慢の産業は世界を魅了し、リードする力を持っています。先人たちが培ってきた技術・産物をグローバル展開することで、我が国の経済力が向上します。三重の力を今こそ世界へ！

川崎ひでと 4つの公約

ありません。政策を決定し、予算を付け、しっかりと「実行する」ことです。自民党には、その力と責任があります。この「実行力」で、私は次の「4つの公約」を掲げ、人口減少・安全保障問題・経済の停滞という、直面する困難に挑みます。批判より実行を！ 口先より結果を！



高市総理が掲げる「日本列島を、強く豊かに」という決意。これを現実のものにするのは、言葉ではなく行動です。私はこの1年、大臣政務官という重責を担い、痛感いたしました。我々各党の責任とは、野党のように単に「聞く」だけ、声を「届ける」だけでは

自由民主党
公認

川崎ひでと (44歳)

I am
JAPAN

ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする

～経済・産業・移民～

① “集めて配る”より、まず**減税**
減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

② 日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

③ **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくり出します。

2 日本人を守り抜く

～食と健康・一次産業・エネルギー～

④ **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

⑤ エネルギーと資源確保が**生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

⑥ **安心医療**で**健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む

～教育・人づくり・国家観～

⑦ 子ども一人につき**月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授け育てたいと思える環境をつくり出します。

⑧ **受験戦争**からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

⑨ **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も逼迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。



みずたに
水谷ゆきやす

参政党公認

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は ▶
こちらの特設サイトから！



水谷ゆきやす プロフィール 昭和48年(1973)12月生。四日市市出身。泊山小学校、南中学校、四郷高校、津田体育専門学校卒業。損害保険代理業界の門を20歳で叩き、現在に至る。有限会社水谷水谷保険事務所。四日市市消防団日永分団へ20歳で入団、同分団分団長就任9年目。

第51回衆議院議員総選挙 第27回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は2月8日(日)

投票の方法

小選挙区選挙 は **候補者氏名** を記入します。

比例代表選挙 は **政党等名** を記入します。

最高裁判所裁判官国民審査 は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に × を記入します。

やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

【期日前投票】2月7日(土)まで

※投票日当日に投票できない方は、期日前投票制度の積極的なご利用をお願いします。

「私たちの明日のために、想いをのせた一票を。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※障がいなどで自書することができない方には係員が代筆する「代理投票」、視覚に障がいのある方には「点字投票」の制度があります。希望される方は、投票所で係員にお申し出ください。

※選挙公報は、音訳版・点訳版も作成しています。必要な方は、県選挙管理委員会又は市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所へは、介護をする方等と一緒に入ることができます。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は、投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

選挙管理委員会連絡先一覧

